

令和2年度埼玉の子ども 70 万人体験活動

よりいちょうりつおぶすまちゅうがっこう

寄居町立男衾中学校

社会福祉体験



全学年

特色

本校の生徒会は、日頃から校内だけでなく、地域貢献活動にも取り組んでいる。コロナ禍で多くの活動が制限されている状況の中で、本校の生徒会が中心となって自分たちが地域の皆さんのためにできることを話し合った。そこで、新型コロナウイルス感染症防止対策として、マスクを作り始めた。全校生徒や教職員にも呼びかけて、多くのマスクが集まった。集められたマスクが多くの地域の方に届けられるように寄居町に寄付することにした。

児童生徒の感想

新型コロナウイルス感染症の早い終息を願って、がんばって作った。心を込めて作ったマスクで、地域のために協力できてよかった。

このマスクプロジェクトへは自主的な参加だったので、生徒みんなが作ってきてくれるか生徒会長として心配だったが、最終的に多くのマスクが集まったのでうれしかった。そして、そのマスクを地域の方々のために寄付することができて本当によかった。

成果

集められたマスクを寄居町に寄付することによって、コロナ禍でも自分たちが地域に貢献できたと自主的・実践的な取組に自信がもてた。また、地域の一員として、地域活動への参画意識も高まった。

本校では人権教育の一環としても、全教科等の授業で「学び合い」を推進している。今回の取組は、学校全体で取り組んでいる人権が尊重される授業づくり・関係づくり・環境づくりで人権感覚が養われた成果と思われる。